

# ☀ 市政改革・とよた市民の会 ☀

とよた市民の会会報 第29号 2015. 7. 25 代表 岡田 耕一

事務局・連絡先 豊田市寺部町3-78 小林 収 方

TEL 80-5323 FAX 89-1620

## とよた市民の会の会員のみなさまへ

市政改革・とよた市民の会は、会報第28号を2013年10月3日に発行後、「長寿社会に向けたまちづくり ～地域包括ケアシステムの具現化にむけて～」と題した市民講座を2014年12月6日に開催しました。それ以来、活動らしい活動をしてきませんでした。が、会員の皆様には、今日までの怠慢をお詫びするとともに、今後の活動のご案内をさせていただきます。

また、本年4月、私にとって7度目の選挙となった豊田市議会議員選挙にて、皆様のご支援を頂き、5期目の当選を果たすことができました。市政改革・とよた市民の会の代表であると同時に市議会議員として、市民福祉の向上、市政の発展に貢献すると同時に行政の監視役として、しっかり働いてまいります。今後ともよろしく願いいたします。

さて、6月議会では、平成27年5月22日に新たな方針が閣議決定された「特定放射性廃棄物の最終処分に関する基本方針」に対する豊田市の考え、取り組みに関する質問を致しました。

特に執行部は、「科学的有望地の提示時期が示されていない中で、豊田市が概要調査地区、最終処分施設建設地等やそれに隣接することを拒否するかどうかを含め、現時点では情報も少なく判断は困難である。豊田市が概要調査地区等や関係地方公共団体に該当する可能性についても、言及することはできない。」など、あいまいな答弁に終始しました。

このやり取りの一部は、私の機関紙に掲載していますので、ぜひご覧ください。

(市政改革・とよた市民の会 代表 岡田 耕一)

## 映画「日本と原発」上映会のご案内

下記のとおり、映画「日本と原発」上映会を開催します。詳細は、同封チラシおよび2面に掲載しています。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

### 記

《開催日》	2015年8月23日(日)
《上映時間》	第1回/10:00~12:20 第2回/13:30~15:50 (開場:30分前~)
《会場》	豊田市福祉センター ホール (豊田市錦町1-1) ☎ 34-1131
《入場料》	大人…1,000円(前売900円) 小・中学生…500円
《連絡先》	岡田 耕一 090-3953-7529 小林 おさむ 0565-80-5323

## 映画「日本と原発」をぜひご覧ください

弁護士が作った映画です。

この映画の制作者は、監督/河合弘之、構成・監修/海渡雄一で、二人とも弁護士です。二人は、脱原発弁護団全国連絡会の共同代表を務めています。この全国連絡会は、3.11福島第一原発事故をきっかけに、各地で原発差止裁判を担ってきた弁護士の情報交換と相互協力、そして経験の共有化と蓄積のために、二人の呼びかけで結成されました。

わが国では、1973年以来、全国各地で住民を原告とする多様な原発訴訟が提起されましたが、ほとんどで住民敗訴が続きました。これらの訴訟で数多く原告代理人を務めてきた弁護士が、「自分たちが正しいことを主張しているだけでは、世の中も裁判官も変わらない。一人でも多くの人に真実を伝えねば」という思いから制作に踏み切ったのが、この映画です。

原発の歴史を見通すことができるドキュメンタリー。

映画は、1953年国連総会での「原子力の平和利用」の発信からはじまったわが国の原発が、どうして「3.11」福島第一原発事故の挫折になってしまったのかを、有識者へのインタビューによって、ていねいに検証していきます。

原発の物理的構造そのものを問題とする小出裕章氏、経済活動における電力会社のあり方を問題とする古賀茂明氏、福島第一原発の事故原因は津波ではなく、地震そのものだと指摘する田中三彦氏、自然エネルギーによる発電量で経済成長は十分に可能であると説く飯田哲也氏、そして、原発コスト安価論のカラクリを明らかにした大島堅一氏等々と、説得力あるインタビューが続きます。

わが国の原子力政策の歴史を振り返って、みなさんの原発に対する考えを再確認していただければ幸いです。

「日本と原発」が法廷で上映されました。

映画を通じて、脱原発の思いを一人でも多くの人に伝えたい、裁判官にも分かってほしいという思いが通じて、この映画は、泊原発廃炉訴訟において、証拠として採用されました。本年4月28日、札幌地裁において、要約版が30分間上映されたのです。

この映画が、単なるプロパガンダではなく、裁判の証拠として有意義なものとして認定されたものだと思います。

「3.11」を風化させないために。

福島第一原発事故から4年半が経過しようとしています。現政府は、放射能汚染から避難した人々に対して、帰還を奨励することに躍起になっているようですが、福島原発内の放射能汚染は、いままも放置されたまま、ただ冷却し、汚染水タンクを並べているだけです。

にも関わらず、安倍政権は原発の再稼働を強行しようとしています。また、核ゴミ処分場の問題についても、岡田市議の6月議会一般質問報告にもあるように、全く手がつけられていない状態です。

この国の原子力政策のあり方をじっくり考えていただくために、ぜひこの映画をご覧ください。

映画会の成功のために、チケットの販売にご協力いただける方、ポスターの掲示場所を提供していただける方は、ご連絡ください。

(とよた市民の会事務局長 小林 収)